



校訓 響生・知性・至誠

農場通信



発行者 本吉響高等学校農業科
発行日 令和3年4月26日 第1号

新年度を迎え新入生が入学してから2週間が経ちました。桜が丘の満開の桜も散り始め、新緑の季節に移りつつあります。本校農場も新学期を迎え新体制の下、春苗等の準備に追われ忙しい毎日です。農場通信は定期的に四季折々の農場の様子を発信します。また、各種生産・販売物の最新情報についてもお知らせいたしますので、新鮮な旬の野菜や花苗等についてもお買い求め下さい。

野菜部門

担当 高橋 知樹 先生
佐藤 善信 先生

春苗の準備に大忙しの野菜部門ですが、今年もナス・キュウリ・トマト・ピーマン・トウガラシ・シシトウ・カボチャ苗等の販売を行います。現在、施設ハウスには約30種、4000ポットの苗を栽培・管理しています。中でもミニトマトの「プチぷよ」はお勧めです。赤ちゃんのほっぺのような外観で、更に皮が軟らかく糖度も高いのが特徴です。トマト嫌いの子供にも喜ばれる品種です。是非、一度ご賞味ください。



生育も順調です!

草花部門

担当 伊藤 裕之 先生
佐々木大明 先生

草花部門では、1年で最も忙しい時期を迎えています。花壇苗(サルビア、ペコニア、マリーゴールド等)の管理・鉢上げ等に追われ、猫の手も借りたい状況にあります。今後、本校花壇の整備は勿論、地域貢献として、総合支所や駅前花壇への定植、更には地元の小学校等への提供により、PRLしていきます。



色鮮やかな花壇苗

見頃を迎えたマリーゴールド

稲作部門

本校には約30アールの実習田があり、主に宮城県主要品種の「ひとめぼれ」を栽培しています。過去には、「全国お米甲子園」において“特別優秀賞”を二年連続で受賞した実績もあり、地域からはブランド米として知られています。

今年も5月中旬に田植えを予定しており、秋の稲刈りまでに管理作業が続きますが、今年も“ひびき米”としてPRLします。

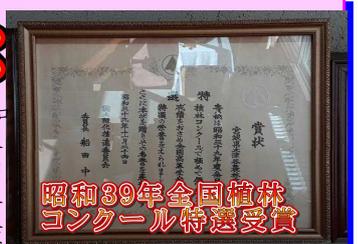


現在、耕起準備中

学校林

ほとんどの生徒の皆さんは知らないと思いますが、実は本校には約90ヘクタールの実習林があります。これは東京ドームの約20個分の広さになります。

過去には全日本植林コンクールにて特選を受賞した実績もあり、林業実習や環境教育の場として活用されてきました。現在、杉や赤松、唐松等を中心に育林されており、本校の財産となっています。



昭和39年全国植林コンクール特選受賞

野菜苗のワンポイント



自根苗と接ぎ木苗の違い
野菜を種から育てた苗を「自根苗」、病気などに強い他の品種(台木)に接木した苗を「接ぎ木苗」といいます。「接ぎ木苗」は病気や連作障害にも強く、初心者にもお勧めです。
穂木(ナス苗)
台木(トルバム)

お知らせ

【野菜・花苗販売会について】

期 日 令和3年5月8日(土) 9時~
場 所 本校農場
販売物 ○草花部門
各種花壇苗等マリーゴールドピオ等
○野菜部門
各種野菜苗等けし、キュウリ、トマト、ピーマン等

